

令和7年度 第2回学校運営協議会

と き：令和8年2月10日（火） 9：50～11：15

と ころ：藍住南幼稚園 ひまわりの部屋

日 程 9：20～9：30 受付
9：30～9：35 日程説明・自己紹介
9：35～10：20 授業参観
10：30～11：15 議題についての懇談

1. 園長あいさつ
2. 保育参観
3. 議題についての懇談

① 南幼稚園

○今年度の課題

主体的に活動できる環境を構成すること

体を動かす楽しさを感じることができる様々な遊びを

○地域の方からの大きな力で

花育活動 季節の花を見たり触れたり植えたり

食育活動 野菜を栽培したり収穫したり遊びに使ったりみんなで食べたり

口呼吸を治すためのお話 昔遊び 野菜の話 梨園見学 小中学生との交流

○サポーター活動の報告

いちご倶楽部 ベルマーク集め隊

○評価アンケートの結果（課題と感じたもの）

探究心や好奇心の育成 聞く・話す力の育成 PTA 活動の頻度

② 南小学校

○重点目標 SWPBS

○年度当初の課題とこれまでの対応

課題1) 熱中症対策

→ 運動会について 保護者テントの設置、開催時期の見直し

課題2) 教員の長時間勤務の常態化 → ICT化、クラウド化を推進

課題3) 登下校の安全確保、立哨、除草作業の必要性

→ サポーター登録 地域の方20名、保護者さん11名完了

2年生のトイレの清掃サポート、本の修繕、図書システム

草木の処理、藍染めアイテム、写真等

地域の方に協力をしていただいた

○学校評価アンケート

課題 → あいさつ 言葉づかい 災害・不審者等への対応

家庭学習の習慣付け SNS 利用 読書について 等

解決策として → 教育活動の広報の充実 PBS の推進

コミュニティスクールの機能強化、読書の質と量の改善

③ 意見交換

委員 幼稚園では、子どもたちが楽しそうにしていた。五感を大切にした教育活動をしている（特に指先）。聞く力をつける活動を意図的にしている。学校評価を学期ごとにして課題を明確にしている。家庭との距離が近いときに地域と関わることの大切さがわかる。小学校では、学校通信等で発信をしたことがよい数値に表れている。横断歩道で止まってくれる車にあいさつができる子どもがたくさんいる。読書について、語彙力との関連で、やはり大切。家庭への啓発も大切で、読み聞かせのみなさんの活動はありがたい。

委員 幼稚園では体験を通して多様な学びをしてくださっていることが保護者としてよくわかる。子どもを育てることについては、親の意識のあり方が大きく、家庭の責任が大きい。保護者が、一緒に育てていただいているという意識でいることが必要。小学校では、聞くことの指導が大事だと思う。家庭と学校で連携して、よい方向に進めればよい。読書や SNS 等、親もしっかりアンケート結果を受け止めないといけない。

委員 第1回以降、地域とのつながりが強まって、よい方向に働いていることはこの会の成果として挙げられる。ベルマーク集め隊もこの会がきっかけで発足している。この会の存在意義は大きい。読み聞かせは、幼稚園では、読んだ本の一覧を園舎に貼って共有している。読み手が選んだ本やその本を選んだ思いについて、広く周知できるとよいと思う。

委員 中学生になって勉強の時間が十分に確保できないといことの原因はスマートフォンにある。スマホをもつ年齢が低年齢化している。学力の基本は読書。国語ができないと他教科もできない。なかなか本を読まない時代になってきたが、声かけ、環境づくりは大切。

委員 市内では幼稚園が統廃合により少なくなって、園児も減っている。南幼稚園は広くて人数が多い。薬剤師の視点からは、園舎が広くて人数が多いと健康管理上大変なのではないかと察する。ICT を活用するのは時代の流れであり、例えば耳で聞いて目で追う、電子図書の読み聞かせ機能を使うとよい。時代に応じた適切なサポートをすることも大事。

委員 子どもの体力や、アレルギー、時代が変わると健康面での課題が違ってきた。

子どもの体力は落ちている。幼稚園では活発に動いている。勉強も大切だが、体力をつけることも大事。遊びの中で自然にできるようなかたちが理想にはあるが、今は難しい。体力作りに繋がるイベントを意欲的にしてくださるとありがたい。体が元気なことが学力向上にも繋がる。

委員 徒歩での登下校について、自分で歩いて行き来することの意義を体力作りと絡めて発信していくとよいのでは。

4. 閉会

藍住南小学校長 あいさつ

